

持続可能な強い組織を目指して
新たなFITマーケットの創出

山陰インバウンド機構

□背景と課題

□新たなFITマーケットの創出

□広域連携によるインバウンド再生の
スキーム

4つのゲートウェイで、空からも、海からも、世界とつなげる。

From the world to SAN'IN

世界 山陰へ!!

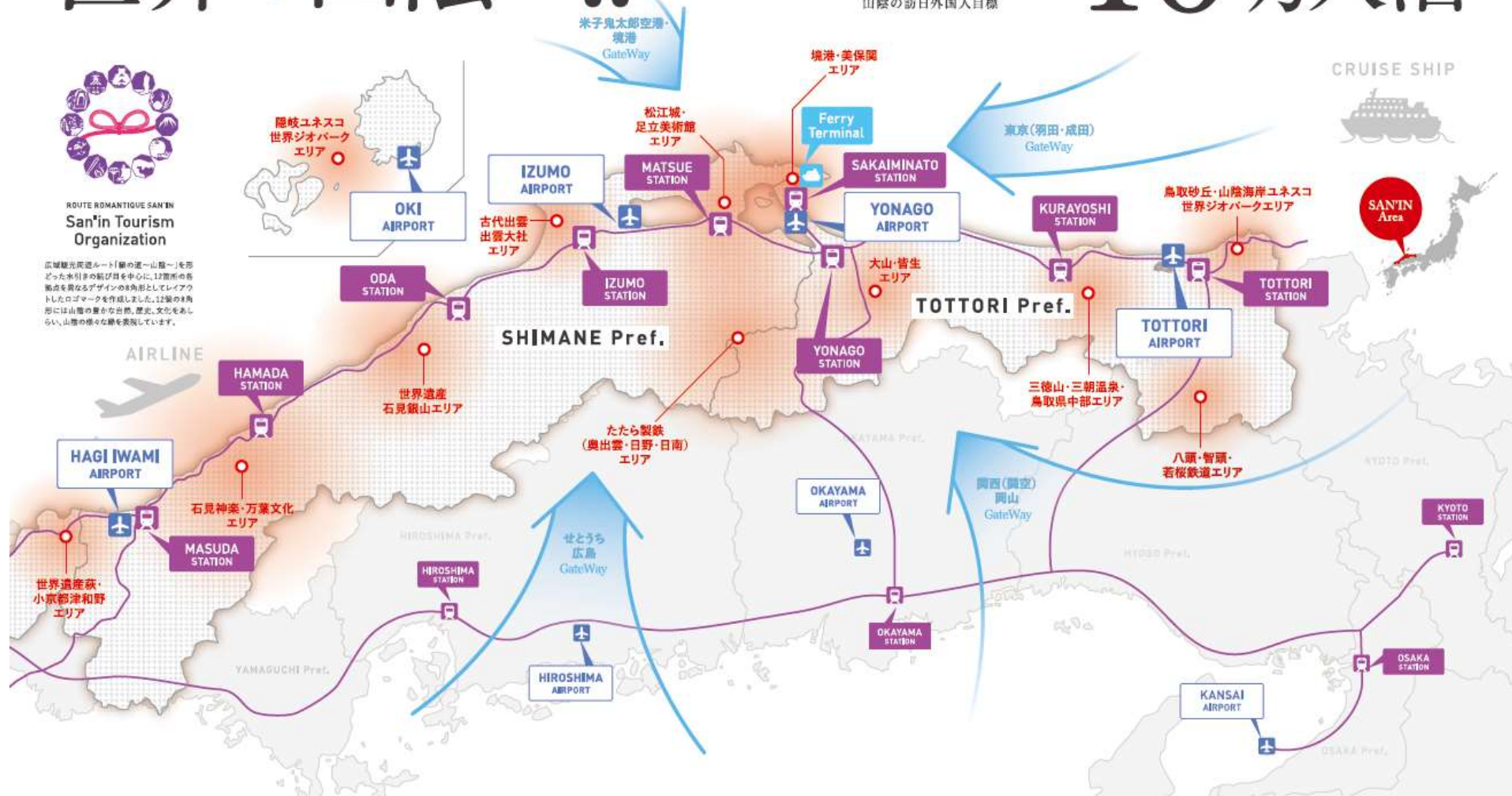
(一社) 山陰インバウンド機構は訪日外国人の誘客で

新たな経済圏を創出します。

MISSION

世界市場に向けて、
山陰の訪日外国人目標

40万人泊



□背景と課題

□新たなFITマーケットの創出

□広域連携によるインバウンド再生の
スキーム

- 交流人口の拡大による経済活性化は山陰（地方）にとって極めて重要。国全体で人口減少が進んでおり国内観光需要の成長はあまり期待できないが、インバウンドは将来に渡って伸びしろが大きい。中長期を視野に入れた継続した施策が求められる。
- 国の方針によりDMOによる観光地経営の意義は深まっている。山陰DMOは独自の経済圏とブランド力をベースに広域連携機能を活かした観光戦略を展開することで、地域（Destination）間競争に勝っていく。
- コロナ収束後における“新しい旅行の常識”（Travel in the New Normal）を意識する必要がある。具体には、旅行先の「防疫対策」や「収容人数の制限」等。国などとの連携を通じて、対応策を講じていく。
- 今後、団体行動から個人旅行へのシフトが更に加速することが予想される。ゲートウェイを意識した「FITマーケティング」に集中して取り組んでいく。

□背景と課題

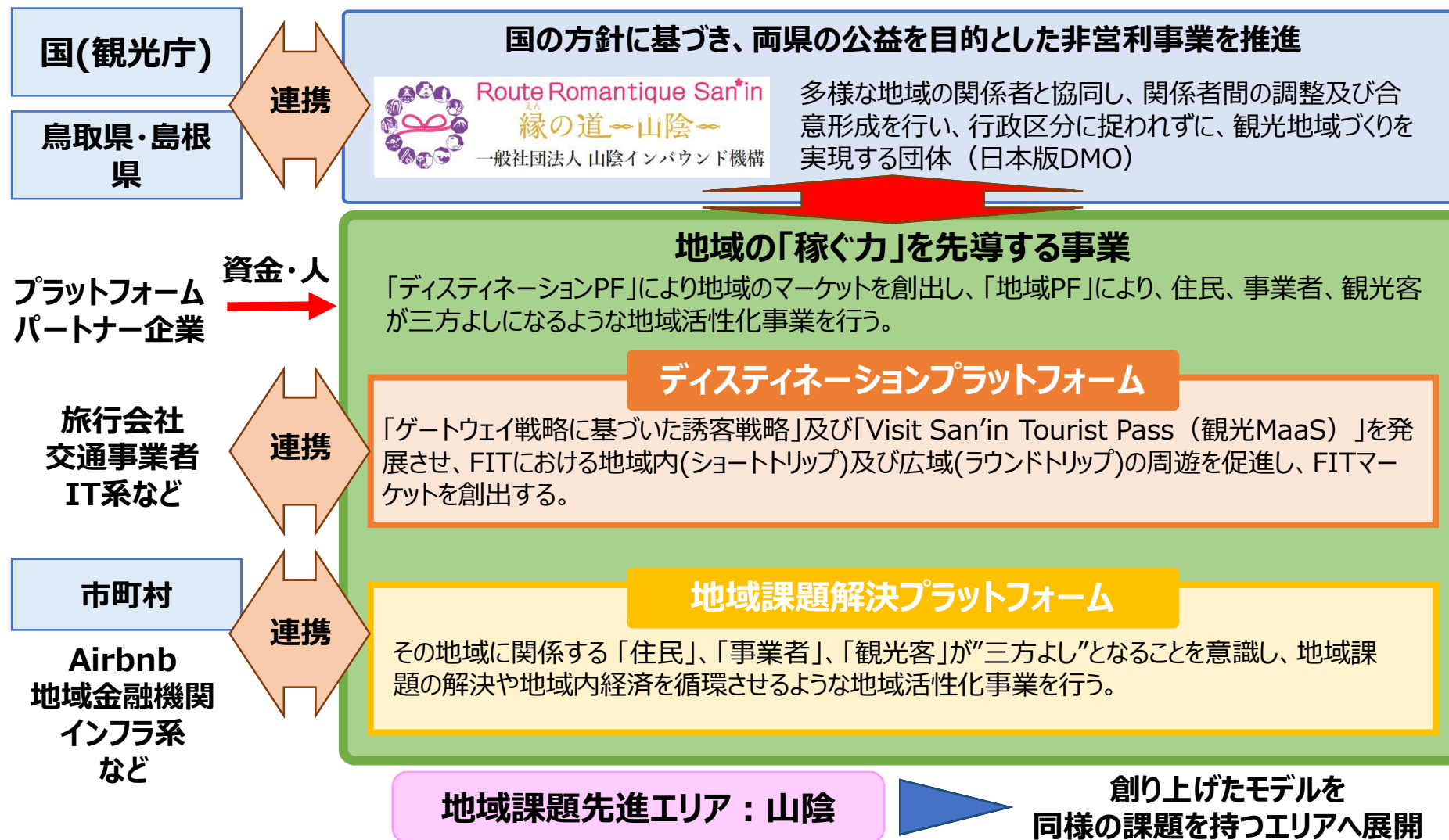
□新たなFITマーケットの創出

□広域連携によるインバウンド再生の
スキーム

地域の「稼ぐ力」を先導する取組

Confidential

「ディステーションPF」「地域課題解決PF」に参画するパートナー企業と共に、三方よしの理念のもと、マーケット創出と地域活性化を行う事業を立ち上げる。



域内周遊パスと広域周遊パス

Confidential

“Visit San'in Tourist Pass”の仕組みを活用し、従来の域内周遊パスに加えて、観光客の目的地となり得る観光施設のみを対象とした広域周遊パスにより、FITマーケットを創出する。

ディステーションプラットフォーム



Visit San'in Tourist Pass
域内の周遊促進・消費拡大



Discover Another Japan Pass
中国地方FITマーケット創出

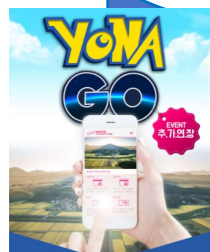
Discover Another Japan Pass

域内周遊 (Short Trip)

“Visit San'in Tourist Pass”

2017年7月から実施中

山陰の主要観光施設等を面的につないだ「観光周遊フリーパス」と「2次交通フリーパス」を組み合わせた山陰観光MaaS



山陰(島根・鳥取)
約26万人泊

展開

山陽(山口・広島・岡山)
約190万人泊

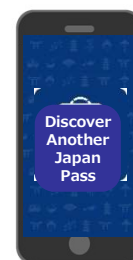
- ・現在、山陰エリアで展開中
- ・今後、他エリアへの横展開を想定

広域周遊 (Round Trip)

“Discover Another Japan Pass”

2020年9月から開始予定

中国地方の付加価値の高いコンテンツを面的につないだ広域周遊フリーパスにより中国地方FITマーケット創出と山陰への多角化誘客



九州
(福岡・大分)
約457万人泊

2019年(速報) 宿泊旅行統計調査

新しいインバウンドマーケットの創出

Confidential

“Discover Another Japan Pass”によって中国地方FITマーケットを創出することで、潜在マーケットを顕在化し、“Visit San'in Tourist Pass”によって、域内の周遊を促進し、滞在が延長することで、地域活性化に繋げる。



バスの主な機能

「Visit San'in Tourist Pass」及び「Discover Another Japan Pass」の主な機能は以下の通りである。

「Visit San'in Tourist Pass(VSTP)」&「Discover Another Japan Pass(DAJP)」

①【FITの自由旅行を可能にする機能】 「観光コンテンツ」+「交通」が1つのアプリで利用できる観光MaaS

■ 山陰観光MaaS : VSTP

「山陰の主要観光施設等が利用できる観光フリーパス」+「山陰のローカル鉄道や路線バス等が利用できる交通フリーパス」

■ 中国地方観光MaaS : DAJP

「中国地方の高付加価値コンテンツが利用できる観光フリーパス」+「中国地方の鉄道や高速バス等が利用できる交通フリーパス」

②【地域資源を商品化する機能】 バスの販売流通機能を活用し、地域のコンテンツを販売

■ パスを通じた地域コンテンツの販売(バス販売)

パスに参画したコンテンツを販売し、パスによってコンテンツを利用した人数に応じて精算する。

■ アプリを通じた地域コンテンツの販売(引換チケット販売)

アプリで「地域コンテンツ利用引換チケット」を購入し、現地で引換を実施し、引き換えた実績に応じて精算する。

③【FITニーズを把握する機能】 利用者の行動動態データを収集し、戦略策定等に活用

■ 収集データ：「ユーザー情報」、「パス購入履歴」、「パス利用履歴」、「行動履歴」など

■ 山陰エリア：VSTP

FIT行動動態データを周遊促進、滞在延長等の地域課題解決等に活用

■ 中国地方：DAJP

FIT行動動態データを多角化誘客戦略などに活用

④【安心・安全を見える化する機能】 観光客及び受入側の安心・安全の仕組み

観光客及び受入側、それぞれが安心・安全であることを見える化し、お互いが事前にチェックできるようにすることで、「安心して観光ができる」/「安心して観光客を受け入れられる」ようにする

□背景と課題

□新たなFITマーケットの創出

□広域連携によるインバウンド再生の
スキーム

広域連携によるインバウンド再生のスキーム

